

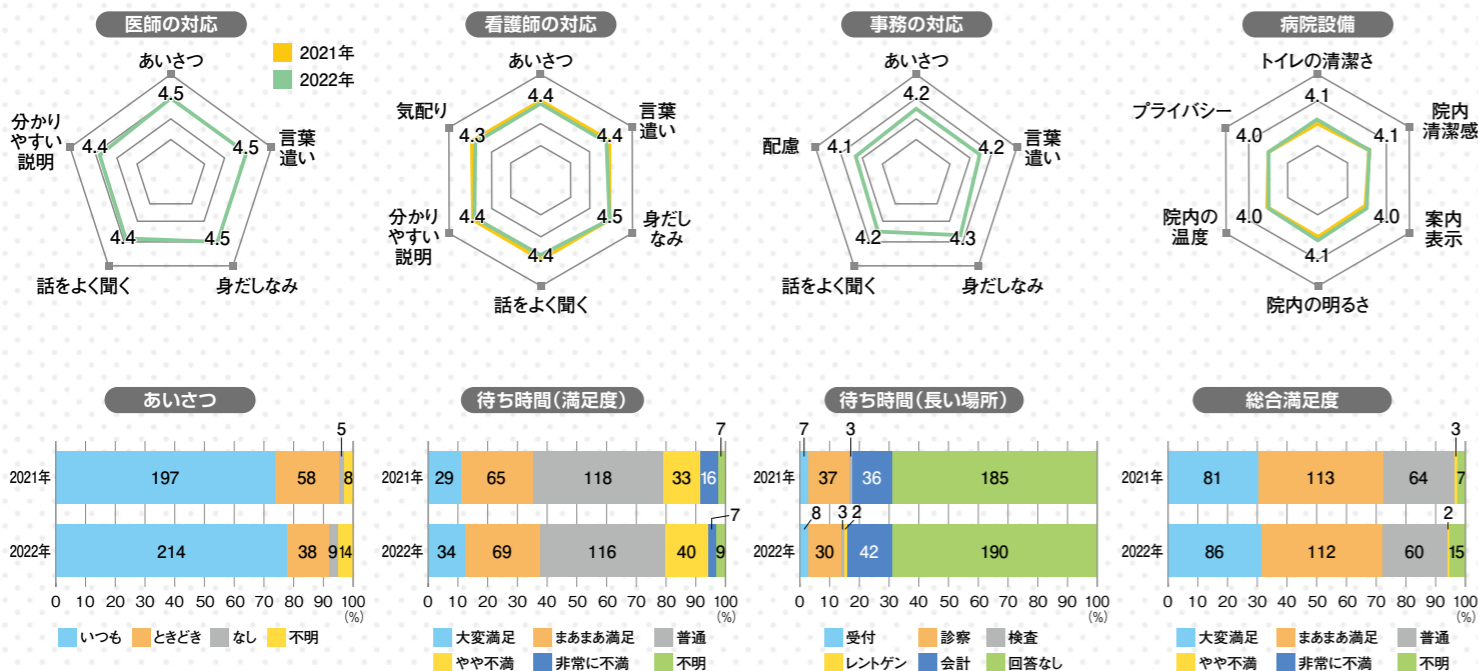
## 2022年度 患者様満足度調査



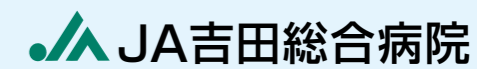
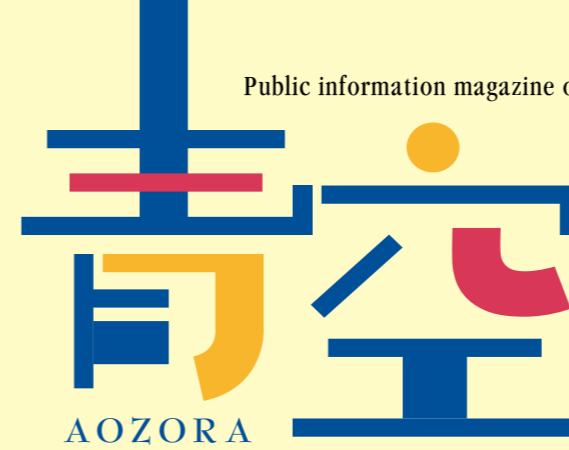
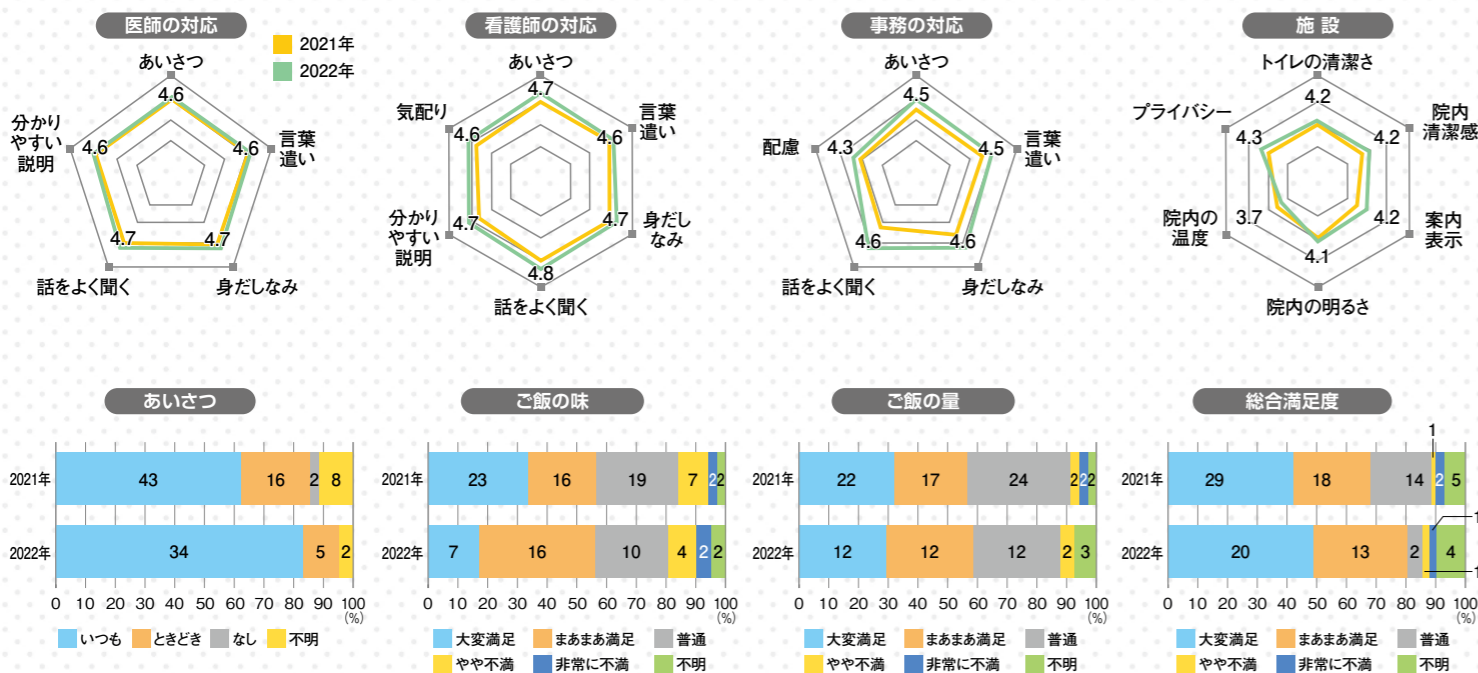
令和4年10月に実施しました患者満足度調査にご協力頂き誠にありがとうございました。  
 皆さまから「笑顔と優しい声掛けに元気をもらいました」「大変な仕事だけど頑張って!」というお言葉をいただき、私たち職員はどれだけ励まされたことでしょうか。また、「待ち時間が長い」というご意見や、接遇に関するご指摘もありましたので、引き続き改善に努めて参ります。  
 これからも皆様から頂きましたご意見を職員一同真摯に受け止め、より一層患者様が安心してJA吉田総合病院をご利用いただけるよう取り組んで参ります。

サービス向上委員会

### 外来



### 入院



発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院  
 〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666  
 Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007  
 2023年(令和5年)2月発行  
<https://yoshida-gene-hospi.jp/>

やさしい心で  
良質な医療を



ご紹介

## 花粉症の季節がやってきました



耳鼻咽喉科 主任部長 横江 裕幸

この号が出る頃には既に鼻がムズムズしている方がいらっしゃるでしょう。そう、花粉症の季節がやってまいりました。

少し細かい話ですが、花粉症は季節性アレルギー性鼻炎の通称です。スギやヒノキの花粉(抗原)に対してIgE抗体が作られるようになり、粘膜の下にいる肥満細胞にくっ付き(感作)。その上で、吸い込んだ花粉がIgE抗体と結合すると、肥満細胞からヒスタミンやロイコトリエンなどの化学物質が放出されて、くしゃみ・ハナミズ・鼻づまり・痒みを生じます(発症)。

花粉症の患者さんは増加傾向で、2019年には国民の約4割が罹患しているといわれています。去年まで平気だったのに、今年花粉症デビュー

してしまう方もいらっしゃるでしょう。スギ花粉の飛散は1月下旬~4月中旬まででピークは2月下旬~4月初旬、ヒノキ花粉の飛散は3月初旬~5月中旬まででピークは3月下旬~4月中旬といわれています。今年の広島のスギ花粉飛び始め予想は2月中旬のようです。敏感な方は少量の飛散でも症状が出ますし、飛散ピーク時はくしゃみ・ハナミズ・鼻づまりに加えて頭がボーっとして集中できないなど仕事や勉強や生活に支障が出てしまいます。

花粉症の対策は、まずは抗原である花粉を回避することが大切です。眼鏡・マスクの着用、家に入ればすぐに上着を脱いで付着した花粉を落とす、帰宅後すぐに手洗い・洗顔・うがいをする、洗濯物は部屋干しにする、換気を控えるなどがあります。しかし、完全に花粉を避けることはできませんので、症状に応じて治療が必要になります。

薬物療法は、くしゃみ・ハナミズに抗ヒスタミン薬、鼻づまりに抗ロイコトリエン薬、ハナミズ・鼻づまりに点鼻ス

テロイド薬・強い鼻づまりに点鼻血管収縮薬、目の痒みに点眼抗ヒスタミン薬など、様々な薬剤を症状に応じて使用します。元々症状が強い方や飛散ピーク時で薬が効きにくい場合は複数の薬が必要です。昔ながらの抗ヒスタミン薬は眠気や口の渇きが困りますが、最近は眠くなりにくい薬が増えています。治療は生活に支障がないことが目標です。効果が得られれば花粉症の時期が過ぎるまで使用します。毎年強い症状が出る方は、花粉飛散が始まる頃または鼻がムズムズし始めた時に治療を開始すると症状が軽くなるのが期待できます。

他にも様々な治療法がありますが、残念ながら紙面が足りず紹介できません。花粉症でお困りの方は耳鼻咽喉科を受診してください。



## 内視鏡センターの紹介

### 内視鏡センターを開設しました

内視鏡センター長  
内藤 聡雄



皆様こんにちは。内視鏡センター長の内藤 聡雄と申します。当院では2022年12月より内視鏡センターを開設いたしましたので、紹介をさせていただこうと思います。

日本では高齢化によって癌患者は増加をしており、癌罹患率は1位が大腸癌、2位が胃癌となっております。死亡率では1位が肺癌ですが、2位が大腸癌、3位が胃癌となっております。がん診療の基本は「早期発見」で、検診受診が非常に重要な役割を果たしており、胃癌・大腸癌においては内視鏡検査が必須となります。ただ患者さんの中には検査の苦痛や不安がある方も多くおられ、当院では希望者には鎮静剤を使用したり、経鼻内視鏡を用いることで、少しでも安心して検査を受けられるよう努力しております。また検診部門とも協力しながら癌検診の推進や精検受診をすすめており、今年度からは大腸癌検診のオプションとして大腸内視鏡検査も行えるように取り組んでおります。

さらに、2022年4月からは広島大学病院から非常勤として週2回内視鏡医にも来ていただき、より充実したスタッフのもとで内視鏡診療を行っており、これまで以上に質の高い診療を目指しています。少しでも当地域の医療に貢献できるように精進してまいりますので、今後ともよろしく願います。

## 肛門外科の紹介

### 肛門外科を開設しました

副院長  
JA吉田総合病院総合 肛門外科主任部長  
大腸肛門病専門医・臨床肛門病技能指導医  
児玉 真也



このたび令和4年12月1日付で外科外来に併設の形で「肛門外科」を開設いたしました。当院では10数年前より「肛門外来」と称した専門外来を行っており、紹介や口コミなどで多くの患者さんに利用してもらってきました。しかし正式に標榜していなかったため、肛門外来の存在を知らずに遠くまで受診されていたケースも少なくありませんでした。そのような患者さんが何かのきっかけで来院された折には「吉田病院でお尻を診てもらえるとは知らなかった」とか「知っていればもっと早くに来たのに～」などと言われたものです。そこで多くの人に当院で専門外来を行なっていることを知ってもらい、安心して受診していただくため「肛門外科」を開設する運びとなりました。扱う疾患の症状はイボ痔、キレ痔、腫れ、出血、脱肛、脱腸、便秘、便漏れ、痛い、痒いなど多彩です。「こんな症状でも診てもらえるんじゃないだろうか？」という人もお気軽にお問い合わせください。ひとりの専門医による外来なのでいつでも診察可能というわけではありませんが、早めの処置を必要とする場合もあるため可能な範囲で対応させていただきます。最後に、「肛門科」ではなく「肛門外科」と「外科」が付いていますが、すぐに切られるという心配はないので安心して受診してください。

## あなたの健康づくりをサポートいたします！ 健康管理センターをご利用ください。



加入されている健康保険組合やお住まいの市町村により  
料金の助成が受けられる場合があります。  
まずは、健康管理センター直通**0826-42-5372**へお問い合わせください。

### 以下のような健診を行っています。

- ◆人間ドック…生活習慣病予防健診やがん検診が含まれます。
- ◆脳ドック…脳動脈瘤・脳腫瘍・脳梗塞の有無などを調べます。
- ◆協会けんぽの健診…生活習慣病予防健診やがん検診が含まれます。
- ◆特定健診…一部の生活習慣病予防健診やメタボリックシンドロームかどうかを調べます。
- ◆労働安全衛生法に定められた健診・じん肺・溶接ヒューム・有機溶剤の健診
- ◆乳がん・子宮がん検診
- ◆単独肺がん検診(胸部レントゲン) 単独胃がん検診(バリウム) 等
- ◆その他豊富なオプション検査(前立腺がん検診・肺CT検査・骨粗鬆症検査等)

### JA吉田総合病院 健康管理センターの特徴

- 検査終了後に診断結果を医師から詳しく説明します。(一部結果がでないものもあります)
- 健診で異常が見られた場合、吉田病院での精密検査の予約ができます。(一部予約できないものもあります)
- 同じ日に他の健診と併せて乳がん・子宮がん検診が受けられます。
- 脳ドックや肺CT等のオプション検査が豊富です。
- 医師からの結果説明の後、保健師から生活上の注意点など健康相談を受けられます。

### お申し込みから検査までの流れ

健康管理センター直通 **0826-42-5372**へお電話ください。

- ↓
- 健診1か月前をめどに「問診票や検便容器など」をお送りします。
- ↓
- 問診票が届いたら「日時」「検査内容」をご確認ください。  
オプション検査など希望があれば事前にお電話ください。
- ↓
- 健診当日、検査終了後、医師が結果の説明をします。
- ↓
- 健診終了後、2週間をめどに結果票をお送りします。

